

第2号事業

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成			事業・枝事業番号	2-1-(1)
事業名	舞台芸術鑑賞機会の提供			担 当 課	文化・学習課
				変更内容	事業拡大
目 的	多様な区民ニーズに沿った満足度の高い公演を企画・実施するために、新宿文化センターの機能特性等を反映させた多彩で個性的な事業を開催し、区民および広く都民に対して、国内外の優れた芸術鑑賞の場を提供する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	38,266	27,851	10,415	部	経常増減の部
区補助金	14,572	12,451	2,121	大科目	事業費
その他補助金	2,850	2,850	0	種別	補助事業
経常収益計	55,688	43,152	12,536	事業開始	平成22年度
事業費	48,601	36,227	12,374	根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法、新宿区文化芸術振興基本条例
人件費	7,087	6,925	162		
経常費用計	55,688	43,152	12,536		
収 支	0	0	0		
自主財源充当額	0	0	0		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
来場者数	7,014 人	14,000 人	△ 6,986 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

No.	内容	日程(予定)	会場	平成26年度実施事業	
1	クラシックコンサート				
	区民合唱団演奏会(区成立70周年行事)	2月18日(土)	大ホール	開館35周年記念 ベートーヴェン「第九」	1,305
	フレッシュ名曲コンサート	10月2日(日)	大ホール	オールモーツァルト・プログラム	678
2	ポピュラー音楽コンサート				
	矢野顕子40th Anniversary	9月2日(金)	大ホール	細野晴臣コンサート	1,686
				高橋和也のハンクウイリアムス物語(小ホール)	397
3	伝統芸能公演				
	新宿文化寄席	10月4日(火)	大ホール	※指定管理事業として実施	1,674
	新春名作狂言の会(区成立70周年行事)	1月25日(水)	大ホール	※指定管理事業として実施	1,485
	歌舞伎公演(区成立70周年行事)	9月23日(金)	大ホール	開館35周年記念 夏狂言「歌仙」	1,450
4	ダンスそのほか舞台芸術				
	新宿文化センターダンスプロジェクト	年間	全館	コンドルズ遊育計画	1,209
	ダンスワークショップ	夏期	小ホール	Family Tree〜ことば・おと・うた〜(小ホール)	203
4	そのほか				
	※指定管理事業に移行			誘致型事業(5公演)	23,531

※主な変更点

- (1) 「誘致型事業」を指定管理事業に移行。
- (2) 伝統芸能公演のうち「新宿文化寄席」「新春名作狂言の会」を指定管理事業より移行、歌舞伎公演は新規実施する。

2 実施上の課題

- (1) 新宿区文化芸術振興基本条例および新宿文化芸術の振興に関する懇談会報告書の新宿文化センターに関わる提言を実施する事業を展開する。
- (2) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、魅力ある日本の伝統文化事業を展開する。

3 顧客満足度の向上方策

- (1) 来場者のアンケート調査を参考に魅力的な企画を打ち出す。
- (2) 多彩なジャンルを網羅するため、多くのプロモーターと情報交換を行い、専門的な情報やネットワーク、ノウハウを蓄積する。

4 実績

上記参照

5 対前年度予算増減説明

- (1) 公演内容の変更による増減
- (2) 伝統芸能公演を指定管理事業より移行、および新規実施による増。

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成			事業・枝事業番号	2-1-(2)
事業名	実験的創造的舞台芸術鑑賞機会の提供			担 当 課	文化・学習課
				変更内容	-
目 的	新宿文化センターを活用し、新宿区における芸術分野の新たな試みを通して、区民および広く都民に対して、優れた芸術鑑賞の場を提供する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	6,432	3,490	2,942	部	経常増減の部
その他補助金	400	0	400	大科目	事業費
経常収益計	6,832	3,490	3,342	種別	自主事業
事業費	9,723	10,782	△ 1,059	事業開始	平成27年度
人件費	0	0	0	根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法、新宿区文化芸術振興基本条例
経常費用計	9,723	10,782	△ 1,059		
収 支	△ 2,891	△ 7,292	4,401		
自主財源充当額	2,891	7,292	△ 4,401		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
来場者数	1,450 人	1,400 人	50 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

No.	内容	日程(予定)		平成27年度実施事業
1	地域文化学習創造事業 ライフアップ講座に移行			新宿カウンターカルチャーストーリー
	フォーク大集会	9月10日(土)	小ホール	フォーク大集会
	新宿JAZZ喫茶	12月11日(日)	新宿PIT INN	
2	クラシック 新宿オペレッタ劇場	時期未定	小ホール	新宿オペレッタ劇場 キドキラ・コンサート
3	ジャズポップス等音楽公演 フォークソングが流れる街	10月10日(月祝)	大ホール	フォークソングが流れる街(補助事業)
	フィンランドJazz	4月18日(月)	小ホール	
4	そのほか			ザルツブルク・トイハウス劇場
	※新宿文化センター指定管理事業に移動			新宿文化センター友の会

2 実施上の課題

- (1) 新宿オペレッタ劇場等、事業のシリーズ化により新宿文化センターの特色を強く打ち出す。
- (2) 事業のテーマとして、ジャズやフォークなど新宿らしい創造文化を取り上げ、地域文化の隆盛に寄与する。

3 顧客満足度の向上方策

- (1) 来場者のアンケート調査を参考に魅力的な企画を打ち出す。
- (2) 多彩なジャンルを網羅するため、多くのプロモーターと情報交換を行い、専門的な情報やネットワーク、ノウハウを蓄積する。

4 実績

平成26年度は実施なし

5 対前年度予算増減説明

- (1) 新宿文化センター友の会関連収支を、「新宿文化センターの管理運営(2)本業務(提案事業)」に移行したことによる減。
- (2) 新宿カウンターカルチャーストーリーを、「ライフアップ講座」に移行して実施するほか、事業内容の精査による減。

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成		事業・枝事業番号	2-2	
事業名	ライフアップ講座(総括)			担 当 課	文化・学習課
				変更内容	-
目 的	多様なプログラムを実施することで区民の多様な生涯学習のニーズに応えるとともに、地域コミュニティの醸成に寄与する。				
区 分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	2,311	2,221	90	部	経常増減の部
区受託料	2,124	2,124	0	大科目	事業費
区補助金	4,050	3,964	86	種別	自主・受託
その他補助金	200	0	200	事業開始	平成20年度
経常収益計	8,685	8,309	376		
事業費	3,524	2,248	1,276	根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法、新宿区消費生活センター条例
人件費	5,661	5,547	114		
経常費用計	9,185	7,795	1,390		
収 支	△ 500	514	△ 1,014		
自主財源充当額	500	0	500		
成果指標	目 標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加人数	2,688 人	3,200 人	△ 512 人	延べ定員3360人×80%	

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) ライフアップ講座(自主事業)

生涯学習フェスティバル等の財団事業への関心を高める内容や地域コミュニティの醸成につながる講座を中心とした、多様な講座を実施する。

- 〈テーマ〉 ①新宿区生涯学習フェスティバル関連 (生け花、茶の湯、陶芸体験など)
 ②文化公演事業関連 (歌舞伎、フォークソング、クラシックなど)
 ③暮らしを豊かにする講座 (歴史・趣味・実技など)

〈回数〉 全10テーマ程度(1テーマ毎の開催回数 1~12回)

〈定員〉 20~100人(講座内容に適した人数設定)

〈会場〉 新宿文化センター、新宿コズミックスポーツセンター、生涯学習館ほか

自主事業 定員合計:2,960人

※①いけ花、茶の湯体験については、2号「新宿区生涯学習フェスティバル」より移動

(2) 消費者支援講座(受託事業)

消費生活に関する知識の普及を図り、区民の生活向上に寄与する社会性・時代性・地域性を踏まえた生活に密着したテーマの講座を幅広い年代を対象に実施する。

〈回数〉年10回 〈会場〉新宿文化センター、新宿コズミックスポーツセンター、生涯学習館ほか

〈定員〉1回あたり40人 〈対象〉新宿区内在住・在勤・在学者

受託事業 定員合計:400人

2 実施上の課題

- ニーズの高い講座に、より多くの方が参加できる企画および講師選定をおこなう。
- 外出の機会や社会との関わりが少なくなりがちな区民へ、社会参加のきっかけづくりとなる講座を実施し、地域コミュニティの醸成に寄与する。

3 顧客満足度の向上方策

- 区民ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し、ニーズに合った安定した講座を実施できる講師を確保する。
- より多くの参加希望者を受け入れられる会場を設定する。
- 一般企業のCSRや、NPO法人等の協力を得た質の高い講座を提供する。

4 実績

平成26年度

(1) 文化教養 全9講座(54回)延べ参加者数:2,660人/趣味実技 全6講座(18回)延べ参加者数:341人

(2) 消費者支援講座 全10講座(9テーマ)延べ参加者数:315人

計 25講座、延べ実施回数82回、延べ参加者数:3,316人

5 対前年度予算増減説明

歌舞伎講座委託および2-1-(2)実験的創造的舞台芸術鑑賞機会の提供からの移行分による委託費の増

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成		事業・枝事業番号	2-2	
事業名	ライフアップ講座(自主)			担 当 課	文化・学習課
				変 更 内 容	-
目 的	多様なプログラムを実施することで区民の多様な生涯学習のニーズに応えるとともに、地域コミュニティの醸成に寄与する。				
区 分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会 計	公益目的事業会計
事業収益	2,286	2,197	89	部	経常増減の部
区補助金	4,050	3,964	86	大科目	事業費
その他補助金	200	0	200	種別	自主事業
経常収益計	6,536	6,161	375	事業開始	平成22年度
事業費	2,986	1,683	1,303		
人件費	4,050	3,964	86	根拠 法令	社会教育法、文化芸術振興基本法
経常費用計	7,036	5,647	1,389		
収 支	△ 500	514	△ 1,014		
自主財源充当額	500	0	500		
成果指標	目 標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	2,368 人	2,880 人	△ 512 人	延べ定員2960人×80%	
-					
-					

事業の計画

<p>1 実施内容(予定) 生涯学習フェスティバル等の財団事業への関心を高める内容や地域コミュニティの醸成につながる講座を中心とした、多様な講座を開催する。 (テーマ) ①新宿区生涯学習フェスティバル関連 (生け花、陶芸など) ②文化公演事業関連 (歌舞伎、フォークソング、クラシックなど) ③暮らしを豊かにする講座 (歴史・趣味・実技など) (回数) 全10テーマ程度(1テーマ毎の開催回数 1~12回) (定員) 20~100人(講座内容に適した人数設定) (会場) 新宿文化センター、新宿コズミックスポーツセンター、生涯学習館ほか 定員合計: 2,960 人</p> <p>2 実施上の課題 (1) ニーズの高い講座に、より多くの方が参加できる企画および講師選定を行う。 (2) 外出の機会や社会との関わりが少なくなりがちな区民へ、社会参加のきっかけづくりとなる講座を実施し、地域コミュニティの醸成に寄与する。</p> <p>3 顧客満足度の向上方策 (1) 区民ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し、ニーズに合った安定した講座を実施できる講師を確保する (2) より多くの参加希望者を受け入れられる会場を設定する。 (3) 財団事業に絡めた企画講座の実施等で、区民の自主的な活動の場を増やし、地域コミュニティづくりにつなげる。</p> <p>4 実績 平成26年度 (1) 文化教養講座 全 9講座(54回) 延べ参加者数: 2,660人 (2) 趣味実技講座 全 6講座(18回) 延べ参加者数: 341人 全15講座(72回) 延べ参加者数: 3,001人</p> <p>5 対前年度予算増減説明 歌舞伎講座委託および2-1-(2)実験的創造的舞台芸術鑑賞機会の提供からの移行分による委託費の増</p>
--

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成			事業・枝事業番号	2-2
事業名	ライフアップ講座 (受託/消費者支援講座分)			担 当 課	文化・学習課
				変更内容	-
目 的	消費者の権利を自覚した「かしこい消費者」を育成するために、区民の学習機会の場を提供する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	25	24	1	部	経常増減の部
区受託料	2,124	2,124	0	大科目	事業費
経常収益計	2,149	2,148	1	種別	受託事業
事業費	538	565	△ 27	事業開始	平成20年度
人件費	1,611	1,583	28	根拠 法令	新宿区消費生活センター 条例
経常費用計	2,149	2,148	1		
収 支	0	0	0		
自主財源充当額	0	0	0		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	320 人	320 人	0 人	延べ定員400人×80%	

事業の計画

1 実施内容(予定)

消費生活に関する知識の普及を図り、区民の生活向上に寄与する社会性・時代性・地域性を踏まえた生活に密着したテーマの講座を幅広い年代を対象に実施する。

〈回数〉年10回

〈定員〉1回あたり40人を基本とする(講座内容により増減あり)

〈会場〉新宿文化センター、新宿コスミックスポーツセンター、生涯学習館ほか

〈対象〉新宿区内在住・在勤・在学者

受託事業 定員合計:400人

2 実施上の課題

- (1) 消費生活センター等との連携を図り、区民のニーズに沿った多彩な講座内容の企画と、即実践につながる体験型講座を展開する。
- (2) 生活にまつわる幅広い内容、時代の流れに合った内容の講座を展開する。

3 顧客満足度の向上方策

- (1) 受講者からのアンケート結果や、時代のニーズに合わせ、関心の高い講座を実施する。
- (2) より多くの参加希望者を受け入れられる会場を設定する。
- (3) 一般企業のCSRや、NPO法人等の協力を得た質の高い講座を提供する。

4 実績

年度	人数	講座数・内容等
平成 26年度	参加者:315人	8種類10講座 携帯・保険・金融(NISA、親子おこづかい)・相続・税・悪質商法・食

年度	人数	講座数・内容等
平成 25年度	参加者:581人	7種類10講座 暮らし・金融・薬・携帯・相続・靴・掃除

5 対前年度予算増減説明

実績精査による諸謝金の減、租税公課費の増

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成			事業・枝事業番号	2-3-(1)
事業名	区民参加型事業 (1) 区民合唱団の運営			担当課	文化・学習課
				変更内容	-
目 的	区民に継続的な文化芸術創造活動への参加を促し、豊かな地域コミュニティの形成を図るため、親しみやすい曲を取り上げた合唱団を運営し、その成果発表の機会としてオーケストラと共演する演奏会を企画・実施する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	2,700	3,000	△ 300	部	経常増減の部
区補助金	1,212	1,191	21	大科目	事業費
経常収益計	3,912	4,191	△ 279	種別	自主事業
事業費	2,273	2,273	0	事業開始	昭和57年度
人件費	1,212	1,191	21	根拠法令	文化芸術振興基本法、新宿区文化芸術振興基本条例
経常費用計	3,485	3,464	21		
収 支	427	727	△ 300		
自主財源充当額	0	0	0		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
参加者数	200 人	200 人	0		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 練習回数 約30回
- (2) 練習会場 新宿文化センター 小ホール ほか
- (3) 曲目 G.ヴェルディ作曲「レクイエム」
- (4) 募集人数 200人
- (5) 演奏発表 2号事業「舞台芸術鑑賞機会の提供」区民合唱団演奏会として実施
平成29年2月18日(土)(予定)
新宿文化センター大ホール
指揮: アンドレア・バッティストーニ(東京フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者)
演奏: 東京フィルハーモニー交響楽団

2 実施上の課題

- (1) 区民が主体的に参加できる合唱団を運営する。
- (2) 参加者が、合唱団での活動後、合唱をはじめとする文化活動に継続して参加できる環境を整備する。

3 顧客満足度の向上方策

魅力ある合唱曲目の選定と、その可能性を引き出せる指導者を選定する。

4 実績

年度	曲目	回数		参加者数	
平成27年度	ベートーヴェン「交響曲第九番」	全23回	全体23回、パート練習0回	168人	(延べ2,785人)
平成26年度	ベートーヴェン「交響曲第九番」	全27回	全体24回、パート練習3回	185人	(延べ3,363人)

5 対前年度予算増減説明

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成			事業・枝事業番号	2-3-(2)
事業名	区民参加型事業 (2)新宿ミュージカル講座			担当課	文化・学習課
				変更内容	-
目 的	小学生及び中学生、高校生等に文化芸術に触れる機会を提供し、舞台創作活動を通して参加者相互の交流を図るとともに、人間性及び自主性、創造性を養う場とする。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,822	1,822	0	部	経常増減の部
区補助金	1,966	1,938	28	大科目	事業費
経常収益計	3,788	3,760	28	種別	補助事業
事業費	2,177	2,177	0	事業開始	平成15年度
人件費	1,611	1,583	28	根拠 法令	社会教育法、新宿区文化 芸術振興基本条例
経常費用計	3,788	3,760	28		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
参加者数	45 人	45 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 小学生(原則4年生以上)から大人対象に、文化芸術体験プログラムとして舞台創作活動の機会を提供する。
- (2) 四谷区民ホールで実施する修了発表会を目標に、基本動作を中心に全27回程度(定員45人)の行程で実施する。
- (3) 講座の総括として、修了発表会后、各々の課題を振り返るために、ビデオ上映会を実施する。

2 実施上の課題

- (1) 充実したプログラムを実施する。
- (2) 舞台衣装の手直しや製作のためのボランティアを確保する。

3 顧客満足度の向上方策

財団広報紙及びホームページを活用し、活動内容(練習風景等)を紹介し、利用者満足度の向上、並びに新規参加者増を図る。

4 実績

平成27年度

実施場所 新宿文化センター、四谷区民ホール

参加状況 応募者 44人、参加者 43人(小14人、中8人、高7人、大人14人)、延べ参加者数1,003人

来場者数 修了発表会来場者数 290名/ 452席(入場時のプログラム配布件数)※天候…晴れ

平成26年度

実施場所 新宿文化センター、四谷区民ホール、新宿コズミックスポーツセンター

参加状況 応募者 40人、参加者 35人(小12人、中5人、高4人、大人14人)、延べ参加者数999人

来場者数 修了発表会来場者数 374名/ 452席(入場時のプログラム配布件数)※天候…晴れ

5 対前年度予算増減説明

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成		事業・枝事業番号	2-4	
事業名	文化団体への活動支援			担 当 課	文化・学習課
				変更内容	-
目 的	地域の文化団体、コミュニティ団体を支援することにより、区民の相互交流を促進する。				
区 分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	1,220	1,199	21	大科目	事業費
経常収益計	1,220	1,199	21	種別	自主事業
事業費	73	68	5	事業開始	昭和54年度
人件費	1,220	1,199	21	根拠 法令	新宿区立新宿文化セ ンター条例
経常費用計	1,293	1,267	26		
収 支	△ 73	△ 68	△ 5		
自主財源充当額	73	68	5		
成果指標	目 標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
文化団体登録数	46 団体	46 団体	0 団体	前年度目標の減免は文化団体以外 (区や区共催事業等)を含んだが、 文化団体への減免額(附带設備使 用料を含む)に限定する。	
団体への減免額	8,915,000 円	8,915,000 円	0 円		
-					

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)登録文化団体等からの相談に、積極的に対応する。
- (2)新宿合唱祭「初夏にうたおう」の開催
日 時／平成28年6月11日(土) 予定
会 場／新宿文化センター大ホール
共同主催／新宿区合唱連盟

2 実施上の課題

- (1)登録文化団体の高齢化に伴う、若年層の不足を改善したい。
- (2)新宿合唱祭の出演関係者だけでなく、幅広い客層への周知を行う。

3 顧客満足度の向上方策

- (1)新規団体の参加を積極的に受け入れ、中高生などの若年層を取り込む。
- (2)来場者が一緒に参加できるような魅力あるプログラム構成を打ち出す。
- (3)合唱連盟の広報だけでなく、共同主催者である財団独自の広報を実施する。

4 実績

新宿合唱祭「初夏にうたおう」
平成27年度
日時／平成27年6月13日(土)11時開演
参加者数:合唱連盟加盟団体46団体
来場者数:延べ1,930人
平成26年度
日時／平成26年6月14日(土)正午開演
参加者数:合唱連盟加盟団体44団体
来場者数:延べ1,600人

5 対前年度予算増減説明

平成28年度事業計画書

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成			事業・枝事業番号	2-5
事業名	生涯学習フェスティバル			担 当 課	文化・学習課
				変更内容	-
目 的	文化の振興および区民相互の生涯学習意欲を高めることを目的として、生涯学習活動者の日頃の文化芸術活動の成果を発表するとともに、区民の鑑賞の場を提供する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,225	1,333	△ 108	部	経常増減の部
区補助金	6,739	6,805	△ 66	大科目	事業費
経常収益計	7,964	8,138	△ 174	種別	補助事業
事業費	3,943	4,190	△ 247	事業開始	昭和45年度
人件費	4,021	3,948	73	根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法
経常費用計	7,964	8,138	△ 174		
収 支	0	0	0		
自主財源充当額	0	0	0		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
出展・出品・出演者数	3,600 人	3,600 人	0 人		
来場者数	7,000 人	7,000 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

別紙参照

2 実施上の課題

- (1) 平成27年度より、全ての会場を新宿文化センターとし、区内生涯学習団体や個人の“檜舞台”として施設を位置付け、定着を図る。
- (2) 本事業と同様に区民を中心とした生涯学習団体の成果発表を目的とする、8号事業「新宿ユース・ステージパフォーマンス」「国際都市新宿・踊りの祭典」について、生涯学習フェスティバルの冠を付ける等の連動を図る。

3 顧客満足度の向上方策

- (1) 運営ボランティアの事業運営への参画機会を設定し、出演出展参加や来観来場参加以外の関わりも充実させる。
- (2) 出展参加申し込みや、出品および作品返却過程における生涯学習館の活用による、出展者の利便性を向上させる。

4 実績

別紙参照

5 対前年度予算増減説明

- (1) 体験プログラムのうち、いけ花体験および茶の湯体験を2号「ライフアップ講座」に移行したことによる減。
- (2) 審査および選考謝礼金、および運営委託料の各単価の整理による減。
- (3) ボランティア用QUOカード購入経費の計上による増。

実施内容および前々年度実績

No.	内容	日程(予定)	平成26年度実績		
			出展参加	来場	
1	ステージ発表等				
①	音楽・コーラスのつどい	11月3日	608	1,100	
②	邦楽のつどいおよび和楽器体験	11月3日	30	120	
③	吟剣詩舞のつどいおよび剣詩舞体験	11月27日	142	145	
④	茶の湯の会	9月25日	601	1,446	
※	新宿ユースステージパフォーマンス(8号)	11月6日	—	2,664	
※	国際都市新宿・踊りの祭典(8号)	11月12日	—	3,256	
2	展示				
①	絵画展	10月4日～10日	87	314	
②	書の展	10月18日～23日	442	680	
③	いけ花展	12月2日～4日	31	226	
④	短歌・俳句・川柳展	11月28日～12月4日	378	155	
⑤	手工芸・陶芸展	11月28日～12月4日	175	642	
⑥	写真展	10月29日～11月6日	60	314	
3	そのほか				
①	表彰式	12月4日	55	55	
②	入賞作品展示	12月2日～4日	—	—	
③	いけ花展添え釜	12月4日	100	100	
④	そのほか体験コーナー	12月2日～4日	—	—	
	そのほか				
	2号「ライフアップ講座」に移動		20	20	いけ花体験
			96	96	茶の湯体験

主な変更点

- 平成27年度より、会場についてはすべて新宿文化センターにおいて開催。写真展は、エントランスロビー等共用スペースを活用し、展示来観者以外の目にも触れるよう設定する。
- 8号事業「新宿文化センターの管理運営(2)本業務(提案事業)」の「新宿ユースパフォーマンス」「国際都市新宿・踊りの祭典」についても、事業の主旨から、生涯学習フェスティバルの関連事業として位置付ける。
- 「陶芸展」については、平成26年度まで別日程で開催していたが、平成27年度より「手工芸展」と同時に開催し、出展者同士の交流をより目指す。
- 各展示や発表プログラムの中で、体験プログラムを開催し、各内容への親しみや興味関心を培う場面を設定する。
- 平成27年度より、手工芸・陶芸展と同時期に、生涯学習活動団体による展示来観者に向けた体験コーナーを実施。
- 体験プログラムのうち、いけ花体験および茶の湯体験等、同展示等とは別日程に開催し、体験を主においた教室型プログラムについては、2号「ライフアップ講座」に移動する。
- 事業運営にあたり、発表プログラムの運営や展示プログラムの場内管理等に、生涯学習活動団体やボランティアの活用を図り、出展出演参加や来観の機会に加えて、事業への参画機会を提供する。さらに、7号事業「生涯学習指導者・支援者バンク」登録者の活動機会の場とする。